

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0403	環境学習推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
環境教育の推進

《事業開始の背景》
環境に対する意識の高揚を図るため事業を開始した。

《事業概要》
○環境マスターの派遣
○環境教育の実施

市民参画の有無 []

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
①	地球温暖化防止の意識を持った市民の割合	人	目標	97.0	98.0	98.0
			実績	97.9	96.2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	市民生活部	生活環境課	上野 剛	255

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
財源内訳	事業費	153				
	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	153				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

1 環境マスター派遣制度

2 環境教育の実施

- ・報償費 94千円 → 環境マスター謝礼(7,000円/日×1日、3,500円/日×25日)
- ・需要費 59千円 → 環境マスター派遣用消耗品購入 59千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0403	環境学習推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	人と自然が共生できる環境づくり
	2		2-3	
目的	環境教育の推進			
対象	市民			
意図	環境に対する市民の意識が高まる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○環境マイスターの派遣
○環境教育の実施

市民協働の形態

共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 環境マイスター派遣回数	回	計画	33	33	33
		実績	23	26	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 地球温暖化防止の意識を持った市民の割合	人	目標	97.0	98.0	98.0
		実績	97.9	96.2	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

環境マイスター派遣制度による環境学習の機会については微増傾向にあり一定の効果があつたと思料されるものの、大きい視点での地球温暖化防止の意識をもった市民の割合は微減した。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

環境マイスターの派遣によって、身近な自然に対する意識が変化したという声が寄せられている。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	地球温暖化対策、省エネルギーといった環境に対するの意識の向上については、市の総合計画・環境基本計画上にも課題として捉えられており、関与は妥当。
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	環境マイスターの派遣状況から申請の地域に偏りがあるなど課題も多いことから、広報活動等を通して広く制度の普及促進を図りながら推進していく。
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	環境マイスター制度の派遣事務等最低限の人員で事務を行っており、削減の余地はない。
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	環境マイスター制度などは全市民を対象としていることから公平・公正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

放射脳汚染や大気汚染といった環境に対しての市民の関心が高い状況の中、環境マイスター制度などを利用した身近な各種環境学習の機会を通じて、環境全般に対する意識啓発活動を引き続き推進する必要がある。